



パテック フィリップ創業175周年

パテック フィリップ ジュネーブ

2014年10月

3種類のスケールを備え、クロノグラフの原点に立ち戻る

パテック フィリップ・マルチスケール・クロノグラフ5975 および4675 モデル

パテック フィリップのクロノグラフは、愛好家、コレクターが最も追い求めるコンプリケーション機能のひとつである。今日パテック フィリップは現行コレクションとして8種類におよぶ完全自社開発・製造のクロノグラフ・ムーブメントを製作しており、そのモデルは機能性においても、またデザインにおいても、きわめてバリエーションに富んでいる。マニュファクチュール パテック フィリップが、創業175周年記念タイムピースのひとつとして、通常のクロノグラフ以上の種々の計測機能を備えた特別なモデルを創作したのは、このためである。

クロノグラフは、一瞥して時間計測機器の本質を現している。クロノグラフに適切なスケールを追加することにより、計測された時間をベースとして種々の計算を行い、いわば《手首に着用する機械式コンピューター》に変身させることが可能である。パテック フィリップ・マルチスケール・クロノグラフは、速度、距離、1分当たりの脈拍数を計測できる3種類の対数目盛を備えている。1960年代まで、タキメーター、テレメーター、パルスメーターを備えた時計は、プロフェッショナルによって日常の活動に使用されていた。婦人用、紳士用に限定製作される記念タイムピース、マルチスケール・クロノグラフは、マニュファクチュール パテック フィリップおよび時間計測の歴史への輝かしいオマージュといえることができるであろう。

手首に着用する計算機

《時間》は物理学上の多くの概念にとって決定的な重要性を持っている。例えば速度は一定の時間に走行した距離を表す。音速と光速の差により、観測地点からの距離を求めることができる。また医療分野における心拍数は、1分間の脈拍数として表される。適切に考案されたスケールをクロノグラフに追加すれば、これらの値を、計算しなくても直ちに直接、読み取ることが可能である。

これらのスケールの秘密は、伝統的な計算尺に使用されている《対数目盛》にある。《対数》とは、ある数が任意の数（通常10が使われる）の何乗として表されるかを、乗数の値で示したものである。対数を用いると、掛け算を足し算、割り算を引き算として行うことができ、算術計算がたいへん容易になる。対数の原理は今から2千年前、インドの数学者によって発見された。十七世紀にスイス人の科学者ヨスト・ビュルギ（1552～1632年）が対数の概念を近代化し、1622年に彼は世界で初めて対数表を公表した。近年小型の安価な計算機が出現するまで、この対数表は世界中の中学・高校生はもちろん、すべての科学者たちによって使用されてきたのである。

秒単位の精度を持つ携帯時計の出現と共に、文字盤の製造メーカーは、計測された時間から、直ちに速度、距離、または脈拍数を求めることのできる対数目盛を考案した。計測された時間からこれらの数値を直ちに読み取るためには、あらかじめ目盛の単位を定めておく必要がある。



パルスメーター

医療分野においては、1分当たりの脈拍数を心拍数とする。1分間計測を続けることなくこれを求めるため、マルチスケール・クロノグラフのパルスメーター・スケールは、脈拍数15回分の時間を測定すれば、1分当たりの脈拍数が求められるようになっている。病院の回診において、医師は時には100人をこえる患者の脈拍数を計測しなければならない。パルスメーターにより、1日当たり1時間以上の時間を節約することができる。

タキメーター

マルチスケール・クロノグラフに搭載されたタキメーター・スケールは、一定の距離（1,000 m）走行するのにかかった時間をクロノグラフで計測することにより、時速が求められるようになっている。高速道路を走行中、キロメートル標識を通過した瞬間にクロノグラフをスタートさせ、次のキロメートル標識を通過した瞬間にクロノグラフをストップさせる。クロノグラフ・スケールには1,000 m走行するのにかかった時間が表示され、タキメーター・スケールには平均時速（km/時）が表示される。タキメーターは、一定時間で走行した距離を計測する代わりに、一定距離を走行した時間を計測するのである。

テレメーター

テレメーター・スケールはkmを単位としており、ある事象（例えば雷）が目で見えた瞬間と、耳で聞こえた瞬間の時間差をクロノグラフで計測することにより、観測者とその事象の距離が求められるようになっている。光速（30万km/秒）と音速（333 m/秒）の速度差を利用した距離の計測方法である。1960年代まで、軍隊もこの方法で距離を計測していた。例えば敵の大砲の閃光が見えてから砲音が聞こえるまで5秒かかったとすると、敵の大砲は1.5 km以上遠方にあることがわかる（ $333 \text{ m/秒} \times 5 \text{ 秒} = 1,665 \text{ m}$ ）。

高精度な時間計測を可能にするクロノグラフ・ムーブメント

パテック フィリップ・マルチスケール・クロノグラフは、文字盤上に同心円状に配置された3種類のスケールによって一目でそれと分かるだけではない。このモデルのために特別に開発されたキャリバーCH 28-520の新しいバージョンも、比類のない特徴を備えている。コラムホイール制御の自動巻クロノグラフ・ムーブメント、キャリバーCH 28-520は、クロノグラフの作動をほとんど摩擦のない垂直クラッチによって行っているため、センターのクロノグラフ秒針を常時回転させて通常の秒針として用いることができる。もうひとつの特徴は、その計時精度である。パテック フィリップ・シールの認定規準にしたがい、平均日差は-3～+2秒以内に収められている。ムーブメントの計時精度が高ければ高いほどパルスメーター、タキメーター、テレメーターによる計測結果が正確になることはいうまでもない。

時を超越した美しさ

マルチスケール・クロノグラフの外装は、パテック フィリップにおけるスタイルがいかに伝統と革新的要素を完璧に融合しているかを示す、模範的な例となっている。ピュアでエレガントなケースはラグが2重になっており、一段高い内側の部分がベゼルの上まで延長された構造になっている。2重のラグは外からは見えないようにネジ止めされ、ケースの各部分を強固に一体化している。この高度な構造により、ケース各部の完全な分解が可能であり、メンテナンスやポリッシングがきわめて容易となっている。文字盤も、このモデルの特徴である同心円状に配置された3種類のスケールにより目を惹きつける。紳士用モデルでは外周からテレメーター、パルスメーター、タキメーターの順に並んでい



《報道資料》 ページ 3

る。婦人用モデルでは並び方が逆になっており、外周からタキメーター、パルスメーター、テレメーターの順となっている。マルチスケール・クロノグラフ紳士用5975モデルは18金イエロー、ホワイト、ローズゴールド仕様各々400個、およびプラチナ950仕様100個の限定製作である。一方ベゼルにダイヤモンドをセッティングした婦人用4675モデルは、ホワイトおよびローズゴールド仕様各々150個の限定製作である。マルチスケール・クロノグラフのすべてのモデルは、ラージ・スクエアのハンドステッチ・アリゲーター・バンドを装着し、《PATEK PHILIPPE 1839 - 2014》の文字が刻印された、ケースにマッチした素材の折り畳み式バックル付である。





技術仕様

パテック フィリップ・マルチスケール・クロノグラフ5975モデル（紳士用モデル、イエロー、ホワイト、ローズゴールド仕様各々400個、およびプラチナ950仕様100個の限定製作）

ムーブメント キャリバーCH 28-520
自動巻ムーブメント、コラムホイール制御、垂直クラッチ式クロノグラフ

直 径： 30 mm
厚 さ： 5.2 mm
部品総数： 239
石 数： 29
連続駆動可能時間： 最小50時間、最大55時間
巻上げローター： 単方向巻上げ式21金中央ローター
テンプ： Gyromax[®]
振動数： 28 800 振動（片道）／時（4 Hz）
髭ぜんまい： Spir omax[®]
髭持ち： 可動式

セッティング機能： リュウズの2位置
・押し込んだ位置：巻上げ
・引き出した位置：時刻合わせ

表示機能： 指針表示：
・時針・分針（センター）
・クロノグラフ秒針（センター）

プッシュボタン： ・クロノグラフ・スタートおよびストップ（2時位置）
・クロノグラフ・ゼロ復帰（4時位置）

認定印： パテック フィリップ・シール

外 装

ケース： ラウンド型、18金イエロー、ホワイト、ローズゴールド、またはプラチナ950仕様、
《PATEK PHILIPPE GENEVE 175 ° Anniversaire 1839 – 2014》の文字を刻印 したゴール
ルドまたはプラチナのソリッド・ケースバック、3気圧防水

ケース寸法： 直径： 40 mm
長さ： 46.7 mm（ラグ～ラグ）
幅： 42.3 mm（3～9時、リュウズを含む）
厚さ： 10.8 mm（サファイヤクリスタル～ラグ）
厚さ： 10.25 mm（サファイヤクリスタル～ケースバック）
ラグ間隔： 20 mm



文字盤：

ゴールド仕様モデル：

シルバー・オパール、転写ブラック・スケール
ケースにマッチしたゴールドのバレットインデックス
ケースにマッチしたゴールドのドフィーヌ型時、分針
ブラック仕上げ銅ベース合金 (Pfinodal) のクロノグラフ秒針

プラチナ仕様モデル：

ブラック、転写ホワイト・スケール
18金ホワイトゴールドのバレットインデックス
18金ホワイトゴールドのドフィーヌ型時、分針
ロジウムめっき銅ベース合金 (Pfinodal) クロノグラフ秒針

バンド：

ラージ・スクエアのハンドステッチ・アリゲーター・バンド、カラーはブリリアント・ブラック (ホワイトゴールドおよびプラチナ仕様)、ブリリアント・チョコレートブラウン (イエローゴールド仕様)、ウルトラブリリアント・チョコレートブラウン (ローズゴールド仕様)

《PATEK PHILIPPE 1839 — 2014》の文字を刻印した、ケースにマッチしたゴールドまたはプラチナの折り畳み式バックル付





技術仕様

パテック フィリップ・マルチスケール・クロノグラフ4675 モデル (婦人用モデル、ホワイト、ローズゴールド仕様各々150個の限定製作)

ムーブメント キャリバーCH 28-520
自動巻ムーブメント、コラムホイール制御、垂直クラッチ式クロノグラフ

直 径： 30 mm
厚 さ： 5.2 mm
部品総数： 239
石 数： 29
連続駆動可能時間： 最小50時間、最大55時間
巻上げローター： 単方向巻上げ式21金中央ローター
テンプ： Gyromax[®]
振動数： 28 800 振動 (片道) /時 (4 Hz)
髭ぜんまい： Spir omax[®]
髭持ち： 可動式

セッティング機能： リュウズの2位置
・押し込んだ位置：巻上げ
・引き出した位置：時刻合わせ

表示機能： 指針表示：
・時針・分針 (センター)
・クロノグラフ秒針 (センター)

プッシュボタン： ・クロノグラフ・スタートおよびストップ (2時位置)
・クロノグラフ・ゼロ復帰 (4時位置)

認定印： パテック フィリップ・シール

外 装

ケース： ラウンド型、18金ホワイトまたはローズゴールド、《PATEK PHILIPPE GENEVE 175[®]
Anniversaire 1839 – 2014》の文字を刻印 したゴールドのソリッド・ケースバック、
3気圧防水

ケース寸法： 直径： 37 mm
長さ： 43.05 mm (ラグ~ラグ)
幅： 39.3 mm (3~9時、リュウズを含む)
厚さ： 10.3 mm (サファイヤクリスタル~ラグ)
厚さ： 10.1 mm (サファイヤクリスタル~ケースバック)
ラグ間隔： 18 mm



《報道資料》 ページ 7

文字盤：

シルバー・オパール、転写ブラウン・スケール
12個のピュア・トップウェッセルトン・ダイヤモンド・インデックス
ケースにマッチしたゴールドのドフィーヌ型時、分針
銅ベース合金 (Pfinodal) のクロノグラフ秒針

バンド：

ラージ・スクエアのハンドステッチ・アリゲーター・バンド、カラーはブリリアント・ピーコックブルー (ホワイトゴールド仕様)、ブリリアント・パープル (ローズゴールド仕様)
《PATEK PHILIPPE 1839 - 2014》の文字を刻印した、ケースにマッチしたゴールドの折り畳み式バックル付

